

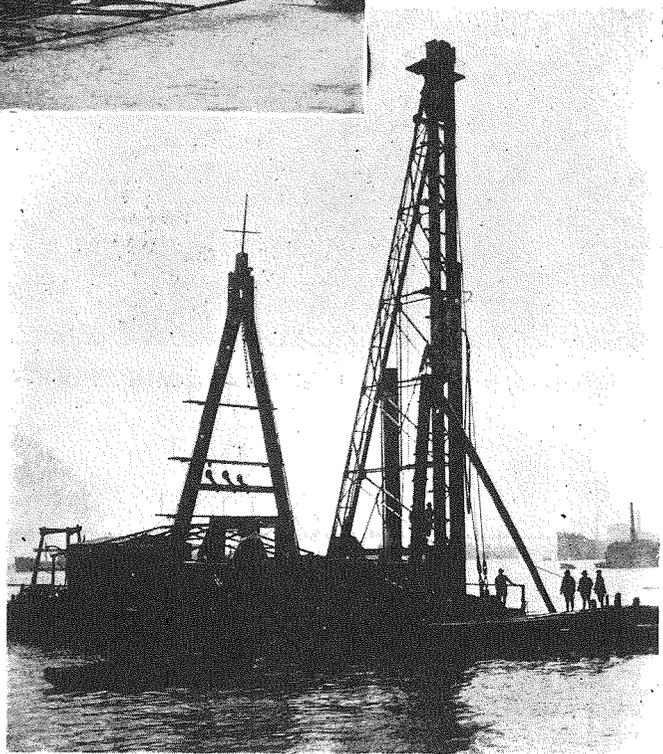
本編は新年號に寫眞を揚げて報導せる横濱港に於ける特種設計のブレースドシリンダー工事の基礎工事及中詰混製土工上部工等を指示するもの、新年號と對照されたい。

第 16 圖

横濱港の内國 貿易用岸壁其他 (二)

内務省横濱土木
出張所内務技師

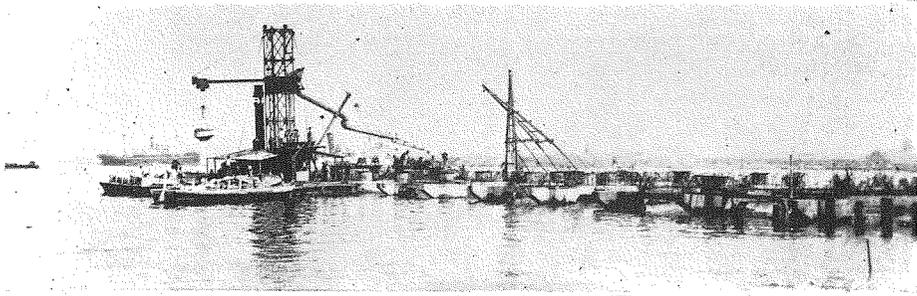
鮫 島 茂



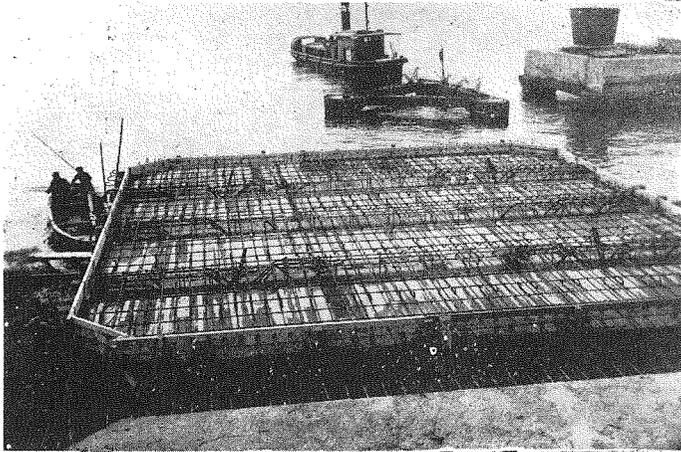
第 17 圖

V 基 礎 工

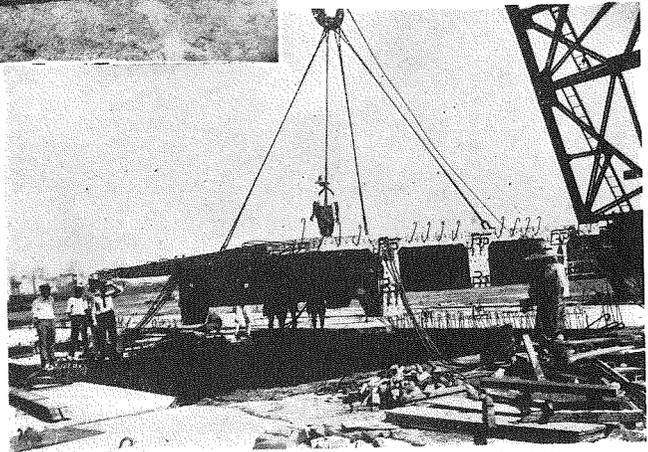
- (16) **杭遺型** 水深干潮面下 8 米の棧橋を築造するに當り先づ基礎を 10 米に掘鑿したる後杭打作業に着手す。杭遺型は古軌條を井桁に組み合せたるものにして起重機により所定の位置に沈下し井桁の格子の中に 7 本の米松杭を打込む。
- (17) **建込作業中の米松杭** 米松杭は長 25 米末 120 種を使用す。杭打棧船は砕岩船を改造し櫓を取付けたるものにして櫓背後に取付けられたる螺旋によりて俯角 10/1 仰角 4/1 迄任意の傾斜杭を打込み得る。杭は圓筒一本に 7 本即圓筒樁 1 個に付 28 本を使用し、水面下の打込は中心に鐵棒を挿入したる假杭(ヤットコ)により作業す、杭打機に使用したるハンマーは米國ユニオン製○番(約 6 吨)なり。



第 18 圖



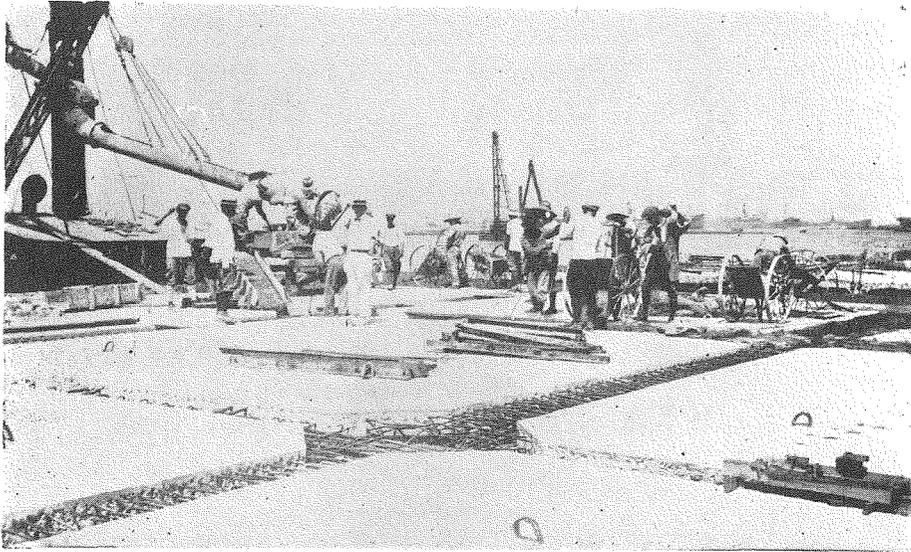
第 19 圖



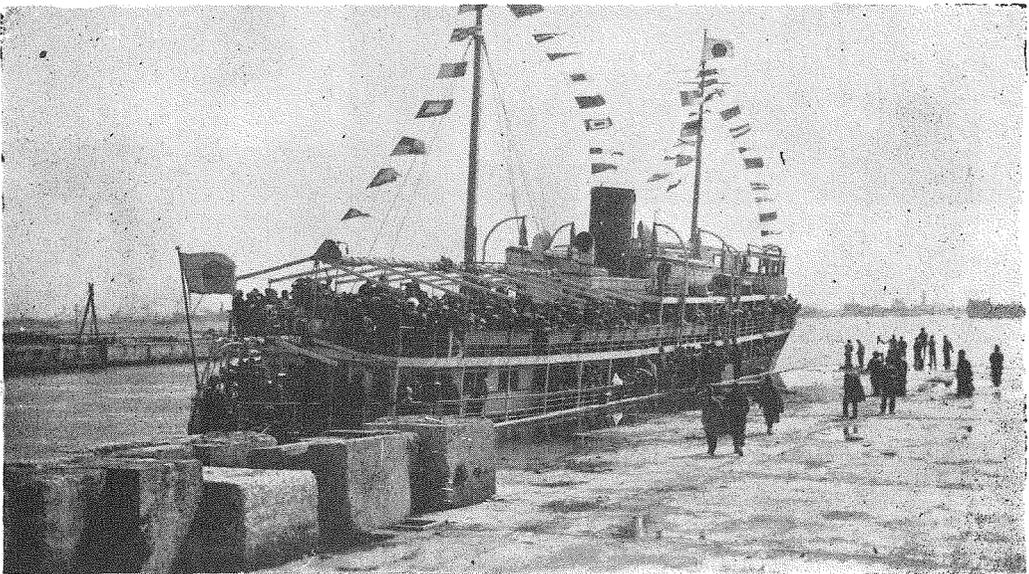
第 20 圖

VI 中詰混凝土工と上部混凝土工

- (18) **中詰混凝土施工中の状況** 圓筒構の鐘形部 2.5米はパイプ中に混凝土を流下せしめて水中コンクリートを施工した。水中コンクリートの硬化を待つて水替をなし上部8.5米を空中填充をなしたり。混合機はポンツーン上に取付けられポンツーンの片舷には材料船を引寄せ隨時海面上を移動し得。
- (19) **鉄筋組立中の床版** 上部コンクリートは各種既製床版を製造工場にて製作し起重機により運搬据付後相互の連結を現場にて施工す。かくする事により海面上に於ける型枠作業の繁雜を省き工事の進捗を速ならしめる。床版の代表的のものは一邊6.5mの正方形に3本の桁を通じたるマナ板型のものにして版厚18浬、3,000斤/平方米の活荷重に耐へ得る。版1個の重量は約35.0噸にして最大なるものは55.0噸ありたり。
- (20) **床版釣込作業** 工場にて製造されたる床版は四方釣の臺付を切り起重機により運搬所定の位置に釣込据付をなす。



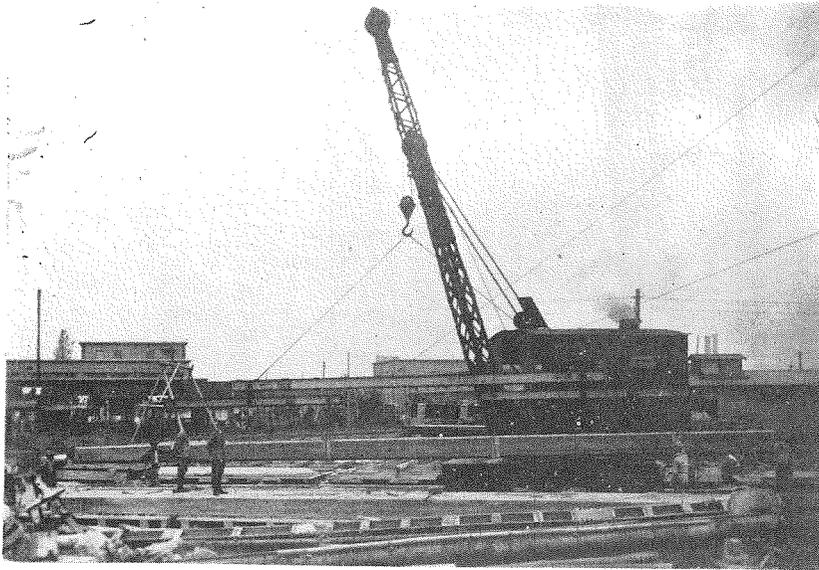
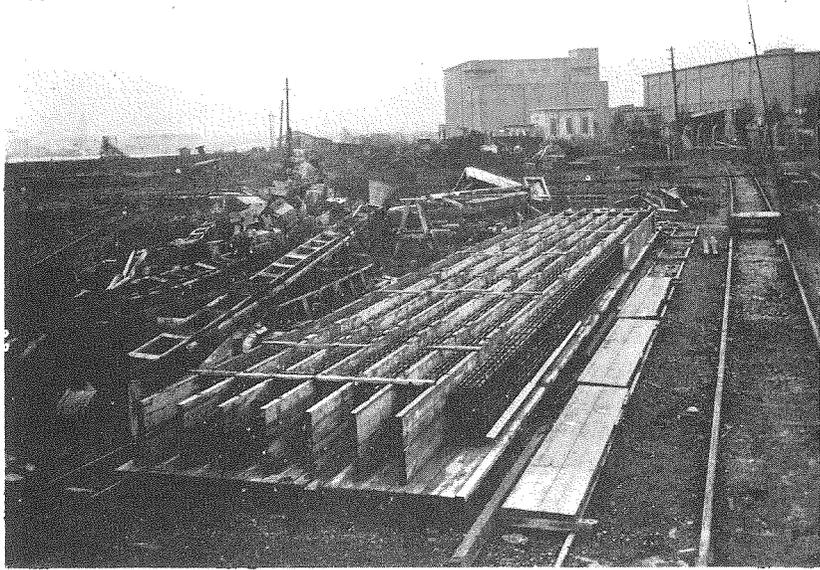
第 2
1 圖



第 2 2 圖

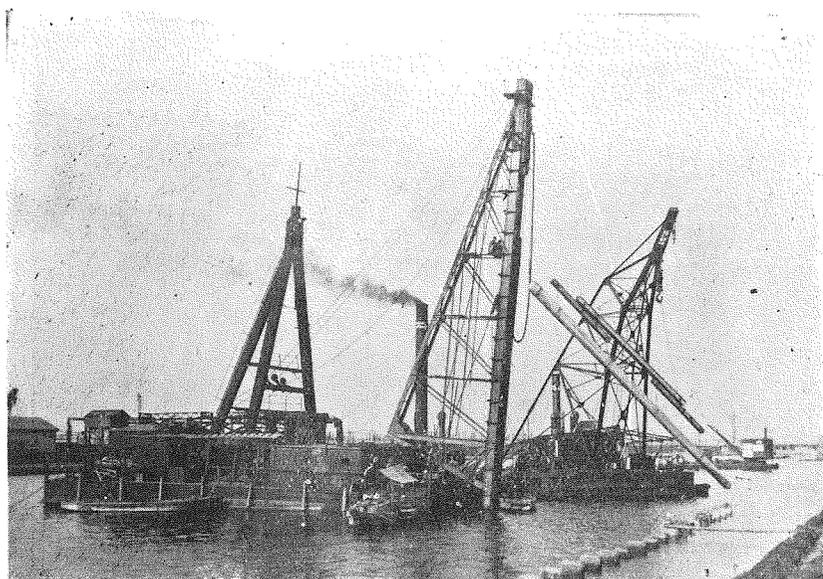
- (21) 上部コンクリート施工 寄木細工の如く据付けたる各種既製床版は現場に於てコンクリートを施工する事により強固なる結合をなさしむ
伸縮継手は長さの方向に於て 1 米毎に設けたり。
- (22) 竣功棧橋の處女繫船 三千噸級船船の繫船に使用さる高島一號棧橋。

第
2
3
圖

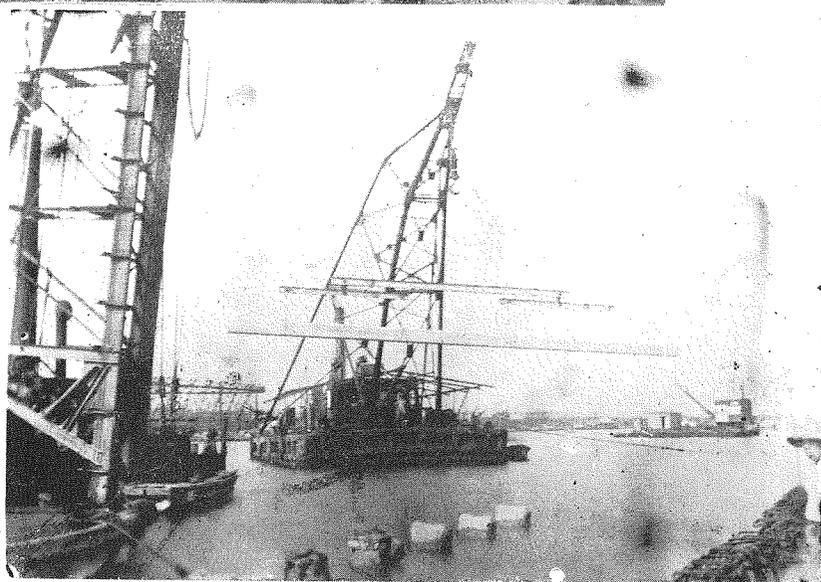


第
2
4
圖

- (23) 鐵筋コンクリート杭製造 水深干潮面下 2米揚場に使用すべき鐵筋コンクリート杭の長さ
は17米斷面は30cm×50cmにして重量約6噸なり。
- (24) 鐵筋コンクリート杭釣出 杭は4點にて支へられ、釣棒は各點蝶番として働き偏重による杭
の破壊を防ぐ。



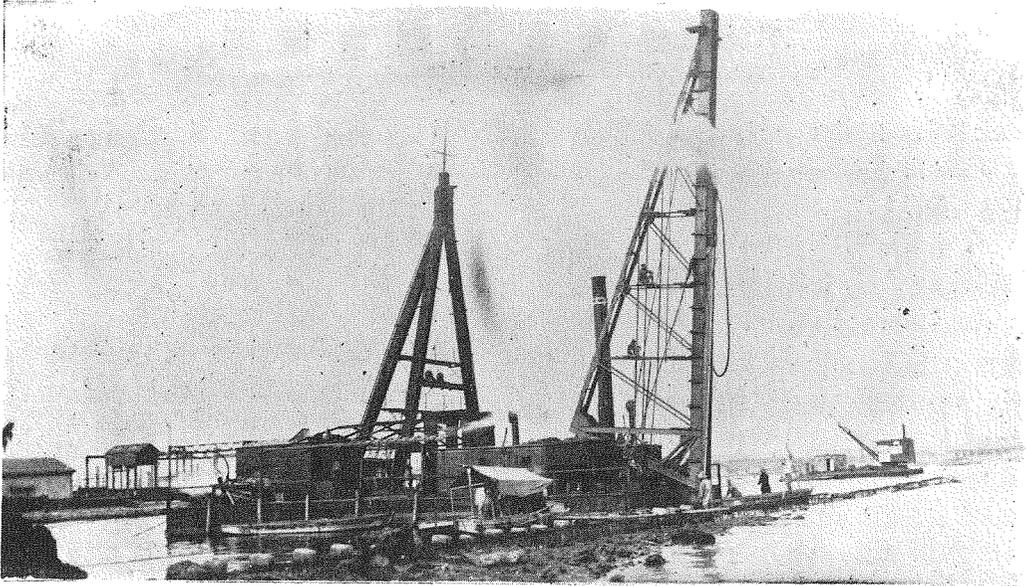
第 25 圖



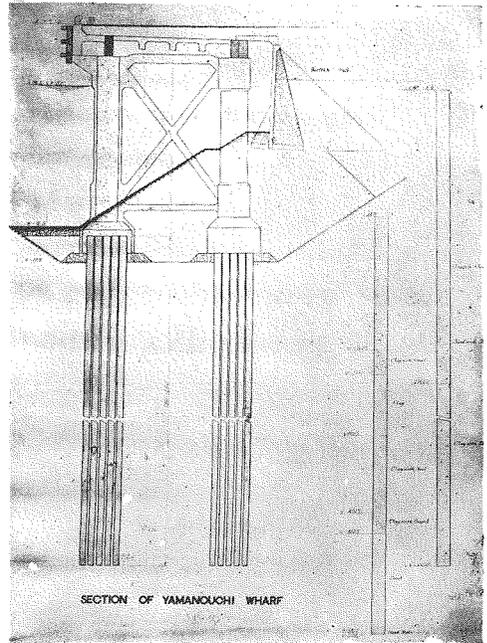
第 26 圖

(25) 鐵筋コンクリート杭建込 運搬されたる杭は杭打現場に於て再び起重機により杭打機に引渡
をなす。

(26) 鐵筋コンクリート杭建込 (其ノ二)



第 27 圖



第 28 圖

(27) 鐵筋コンクリート杭打込 杭は前方に10/1傾斜をなす。

(28) 山の内横棧橋断面圖